

2007年3月期 決算説明会

2007年5月7日(月)

ALPS電気株式会社

美しい電子部品を究めます

ALPS®

目次

1. 2007年3月期 実績報告
 - 1-1. 連結業績の状況
 - 1-2. 電子部品セグメントの状況
2. 2008年3月期の見通し
 - 2-1. 連結業績の状況
 - 2-2. 電子部品セグメントの状況
3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

目次

1. 2007年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2008年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

2007年3月期 実績報告 連結業績の状況

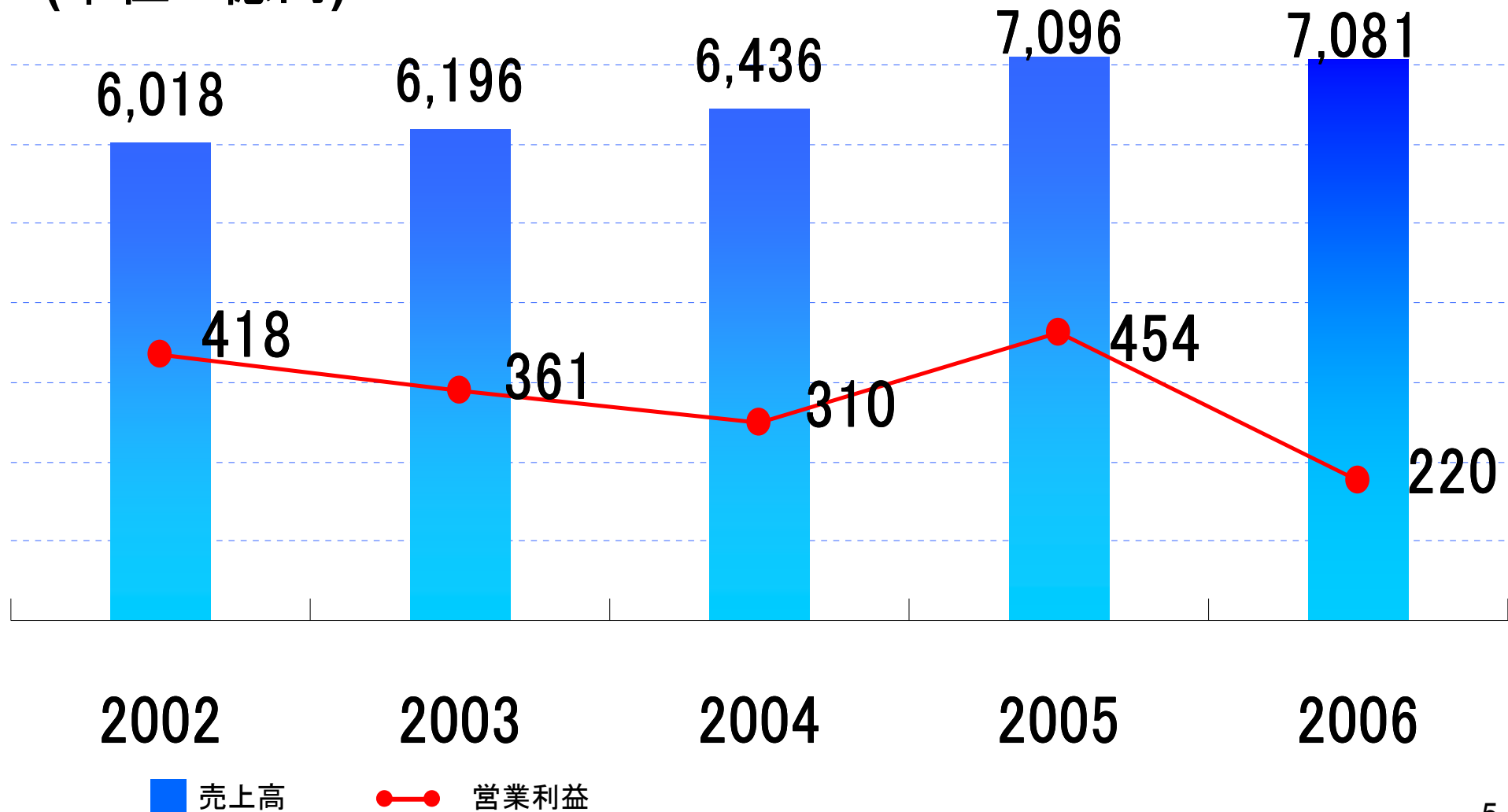
■ 業績サマリー

(単位:億円)

	2005		2006					
	実績	売上比	実績	売上比	前期比 増減率	公表値	売上比	公表値比 増減率
売上高	7,096		7,081		△ 0.2%	7,020		+ 0.9%
営業利益	454	6.4%	220	3.1%	△ 51.4%	225	3.2%	△ 2.2%
経常利益	464	6.5%	246	3.5%	△ 46.9%	230	3.3%	+ 7.0%
当期純利益	188	2.7%	49	0.7%	△ 73.9%	50	0.7%	△ 2.0%
フリーキャッシュフロー	192	—	63	—	—	—	—	—
期中平均 円/USD	113.31		117.02			117.29		
為替レート 円/EUR	137.86		150.09			150.37		

※フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー－投資活動によるキャッシュフロー

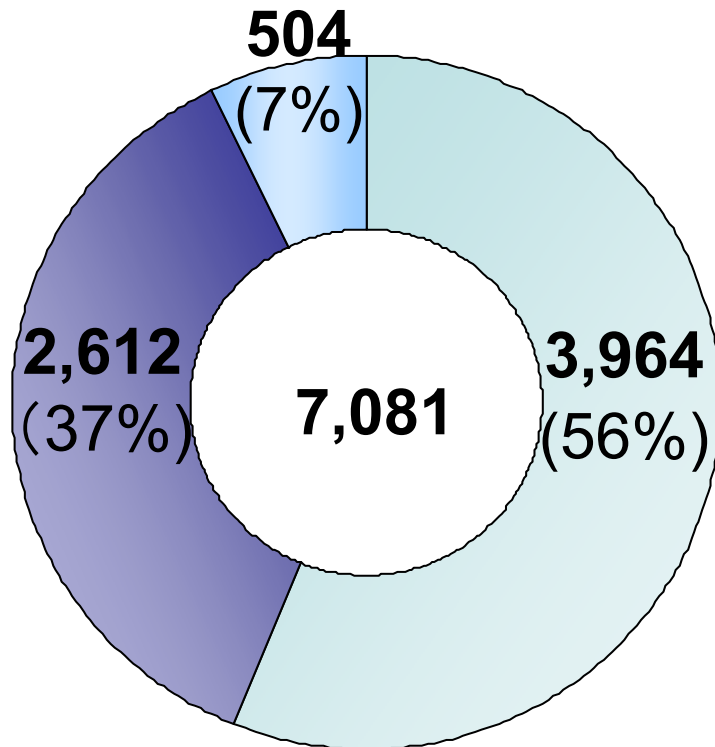
■ 売上高 / 営業利益 推移
(単位：億円)



2007年3月期 実績報告 連結業績の状況

■ 事業別売上高の内訳

(単位：億円)



電子部品事業

ALPS
ALPS ELECTRIC CO., LTD.

売上高 3,964億円 (前期比 3.9%減)
営業利益 52億円 (同 81.5%減)

音響製品事業

ALPINE
ALPINE ELECTRONICS, INC.

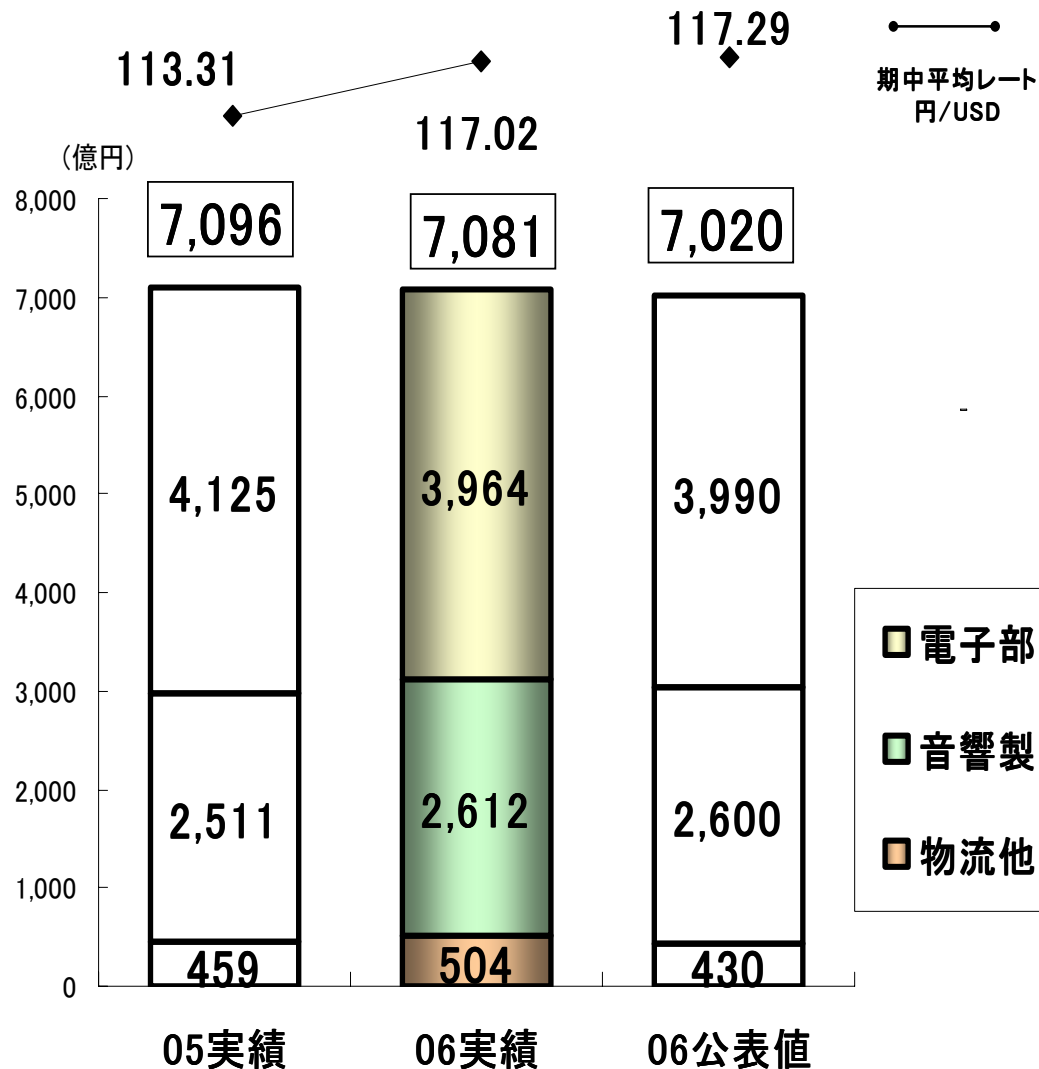
売上高 2,612億円 (前期比 4.0%増)
営業利益 101億円 (同 4.5%増)

物流事業、他

ALPS ALPS LOGISTICS CO., LTD.

売上高 504億円 (前期比 9.8%増)
営業利益 64億円 (同 5.9%減)

■ 連結売上高の増減



前期比 Δ 14億円

◇為替の影響 + 233億円

・米ドル高円安 +111億円

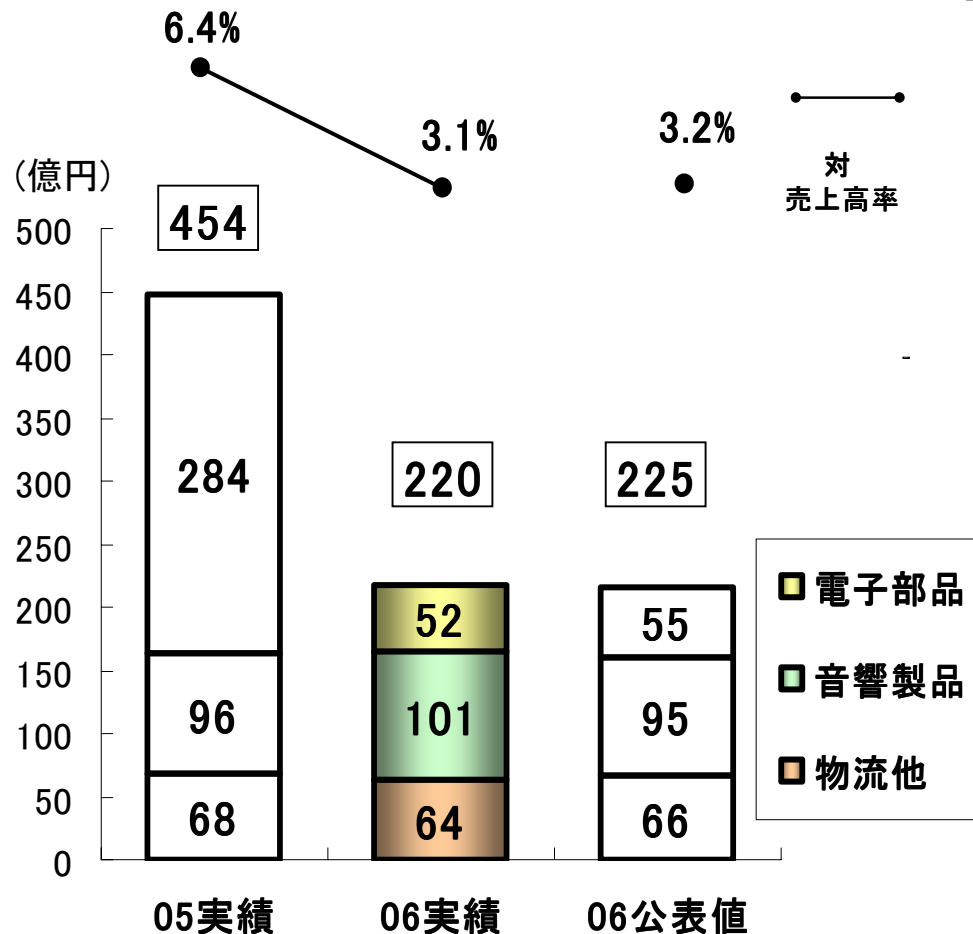
◇為替影響除く Δ 248億円

・電子部品の減少 Δ 306億円

・音響製品の増加 +13億円

・物流・その他の増加 +45億円

■ 連結営業利益の増減



(注) 連結消去前で表示

前期比 Δ 233億円

◇ 為替の影響 +58億円

・米ドル高円安 + 34億円

◇ 為替影響除く Δ 291億円

・売上減少等による減 Δ 223億円
(前期計上分)

退職給付過去勤務債務償却益

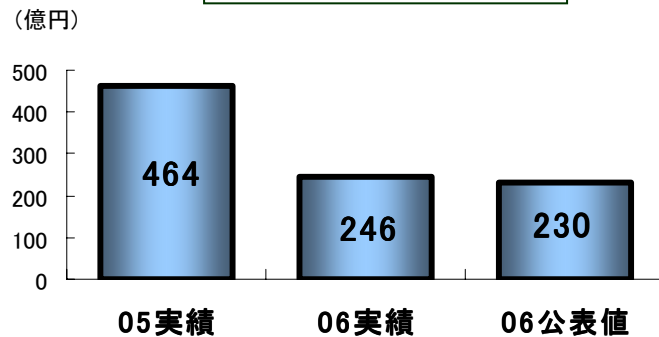
の減 Δ 70億円

【電子部品 Δ 59、音響製品 Δ 10】

2007年3月期 実績報告 連結業績の状況

■ 連結経常利益、連結当期純利益の増減

経常利益

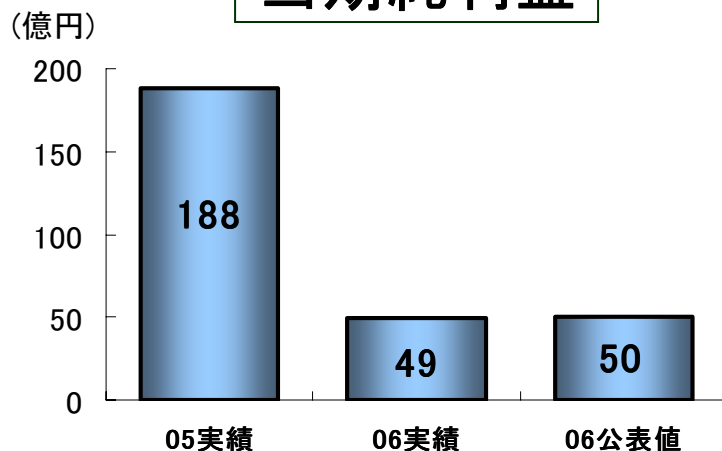


(経常利益) 前期比 $\Delta 217$ 億円

- ・営業利益の減少 $\Delta 233$ 億円
- ・金銭信託償還損の減少 + 8億円

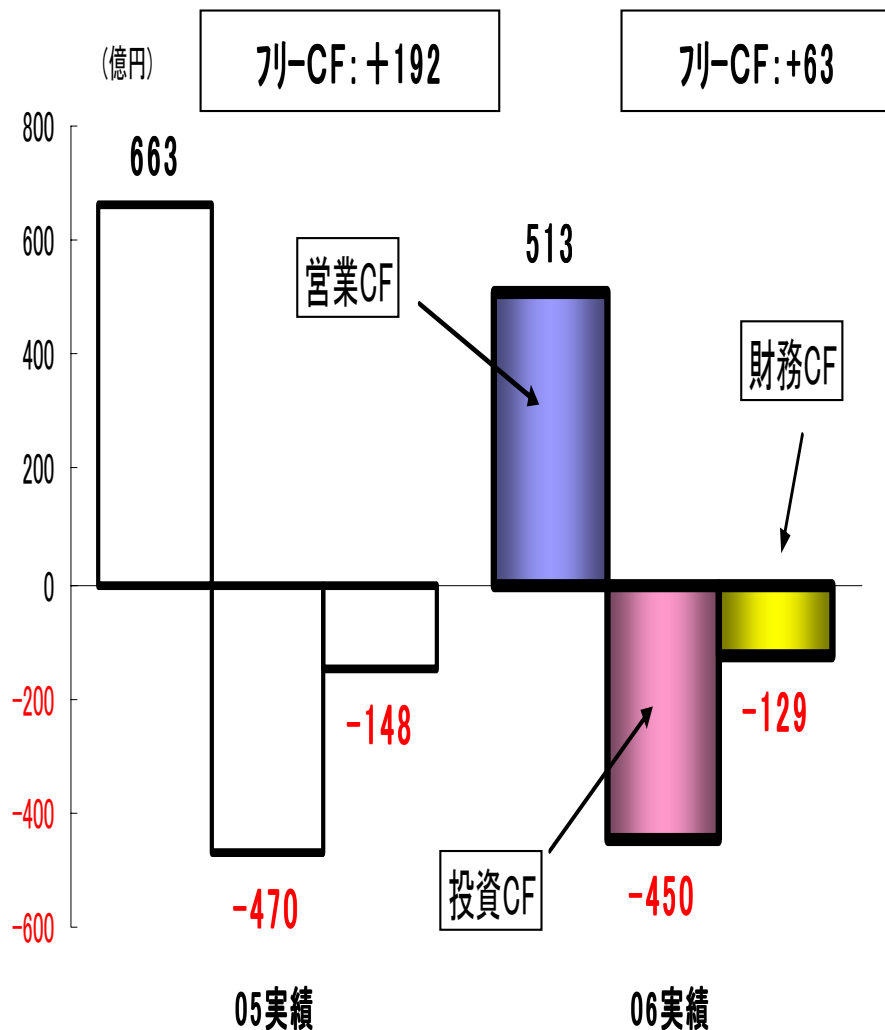
(当期純利益) 前期比 $\Delta 139$ 億円

当期純利益



- ・経常利益の減少 $\Delta 217$ 億円
- ・特別利益の増加 + 9億円
- ・特別損失の減少 + 54億円
- （固定資産減損損失の減少 + 45億円）
- ・その他 + 13億円

■ 連結キャッシュ・フロー



◇ 営業CF増減 Δ 149億円

- ・(前期)退職給付引当金 +109億円
- ・法人税等調整前当期純利益の減 Δ 153億円
- ・売上債権の増加 Δ 69億円
- ・長期未払金の減少 Δ 56億円

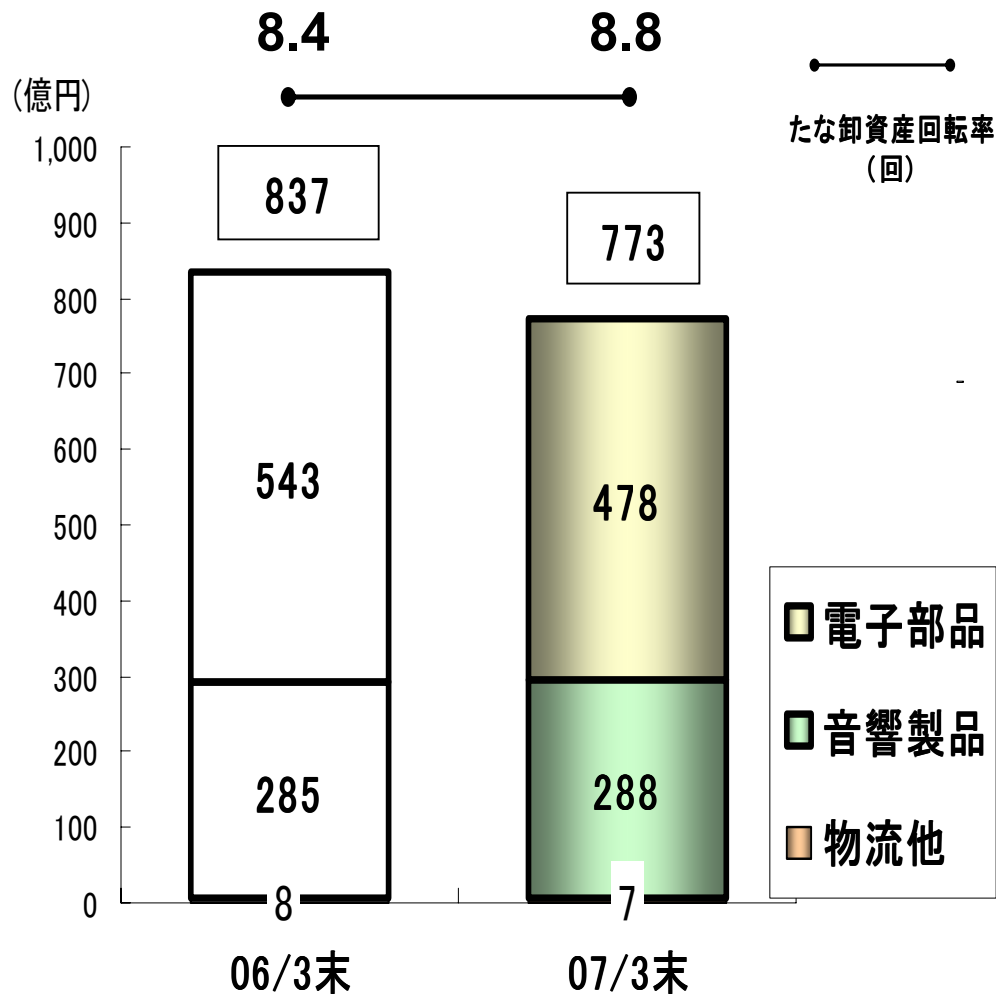
◇ 投資CF増減 +20億円

- ・固定資産取得減 + 15億円

◇ 財務CF増減 +18億円

- ・長期借入金の増加 +203億円
- ・社債の償還による支出 Δ 100億円
- ・短期借入金の返済 Δ 50億円
- ・その他 Δ 33億円

■ 連結たな卸資産の増減



前期比 Δ 64億円

◇電子部品 Δ 65億円

◇音響製品 + 3億円

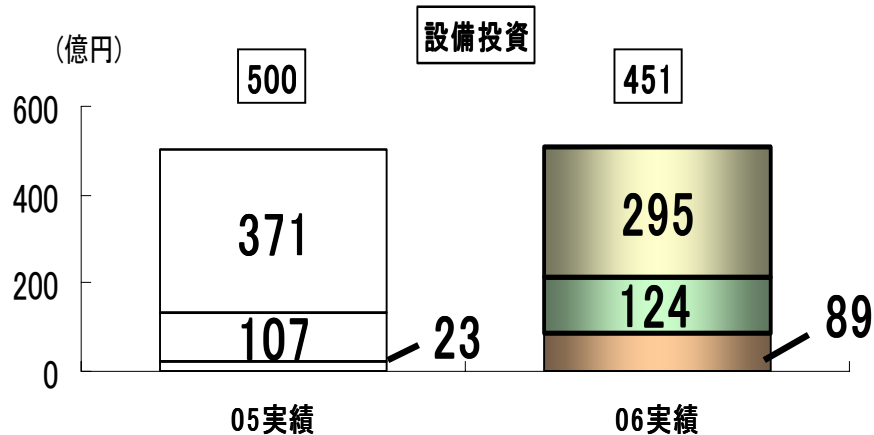
※たな卸資産回転率 06/3 07/3

◇電子部品 7.7 → 7.9

◇音響製品 8.5 → 8.8

2007年3月期 実績報告 連結業績の状況

■ 連結の設備投資及び減価償却費の増減



前期比 Δ 49億円

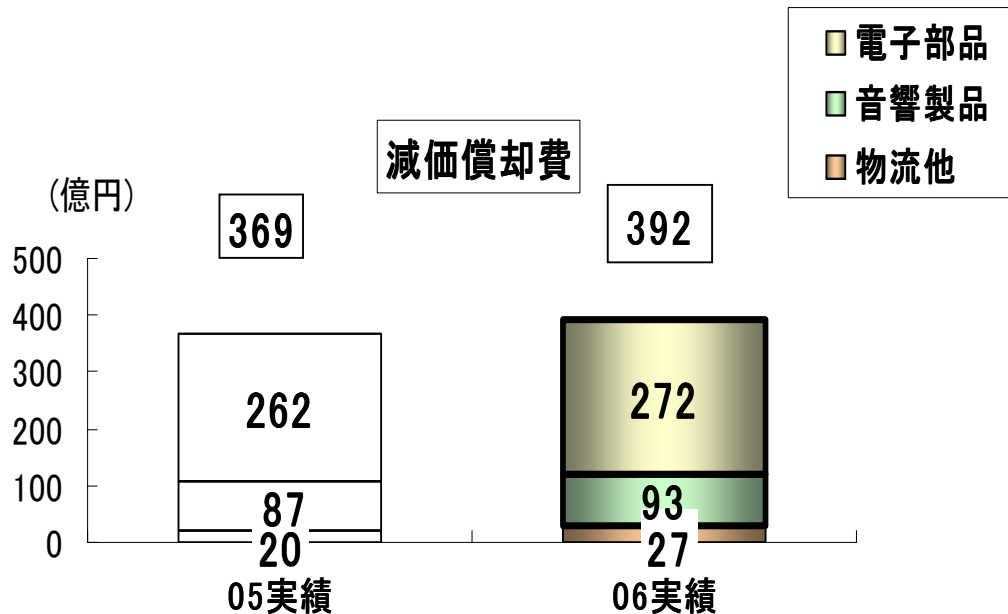
◇電子部品 Δ 76億円

◇音響製品 + 17億円

◇物流その他 + 66億円

(注) 連結消去

[Δ 57]



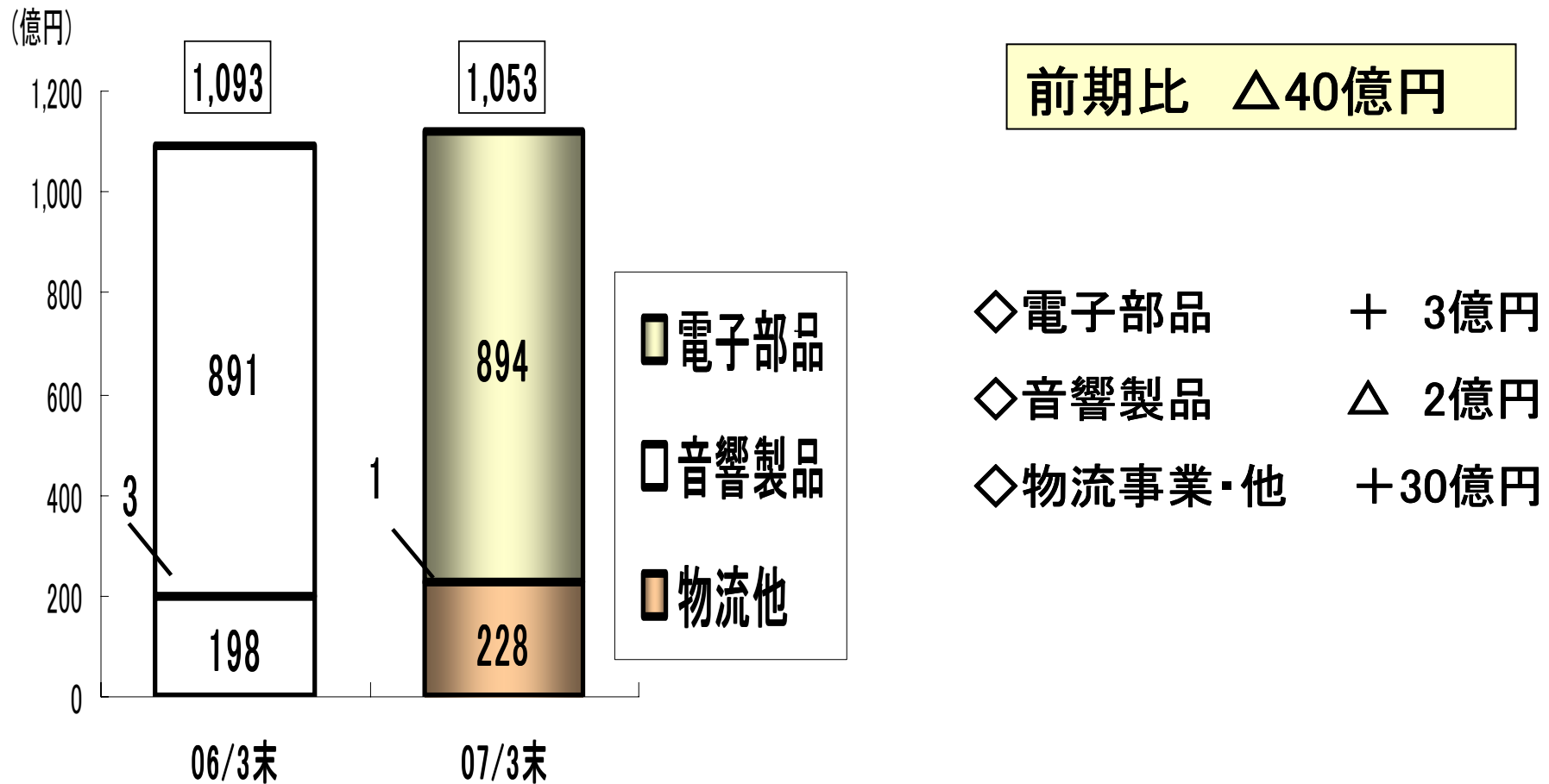
前期比 +23億円

◇電子部品 + 10億円

◇音響製品 + 6億円

◇物流その他 + 7億円

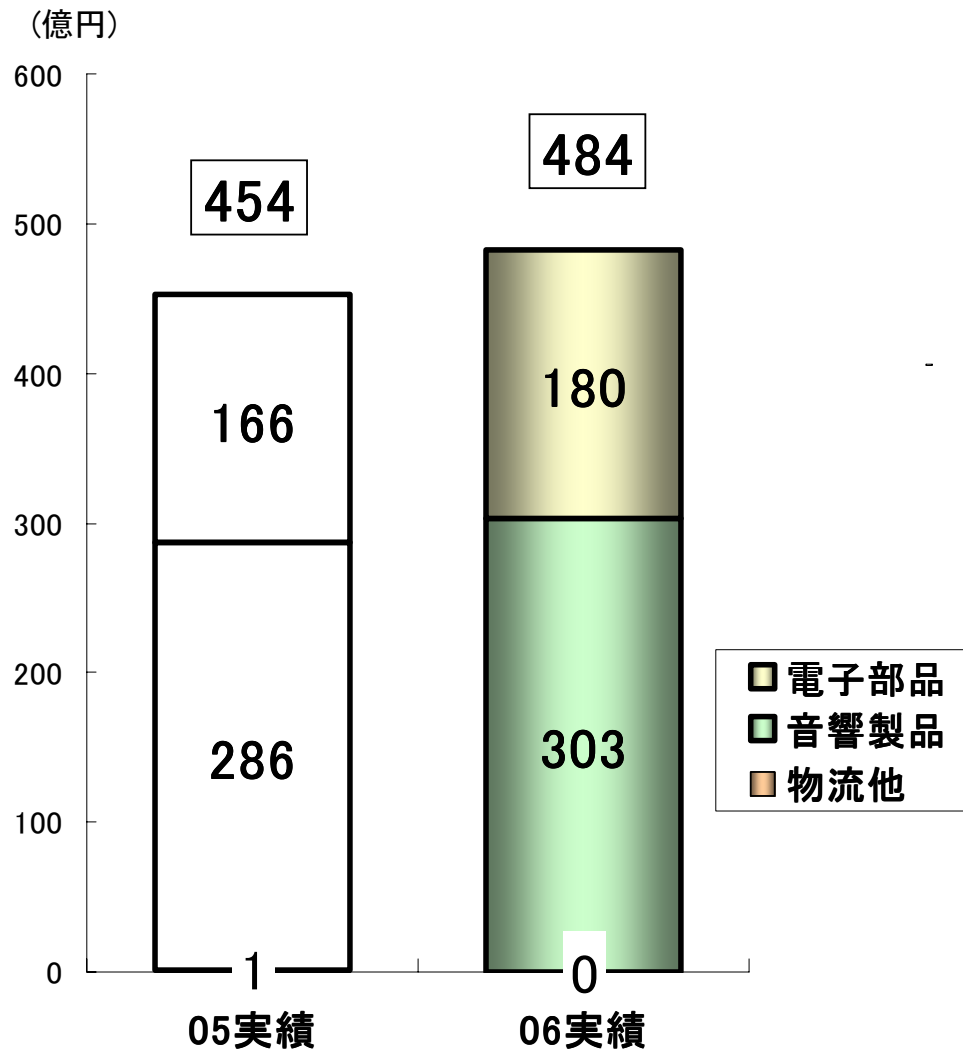
■ 連結有利子負債残高の増減



(注) 連結消去

[$\Delta 71$]

■ 連結研究開発費の増減



前期比 +30億円

◇電子部品 +14億円

◇音響製品 +17億円

目次

1. 2007年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2008年3月期の見通し

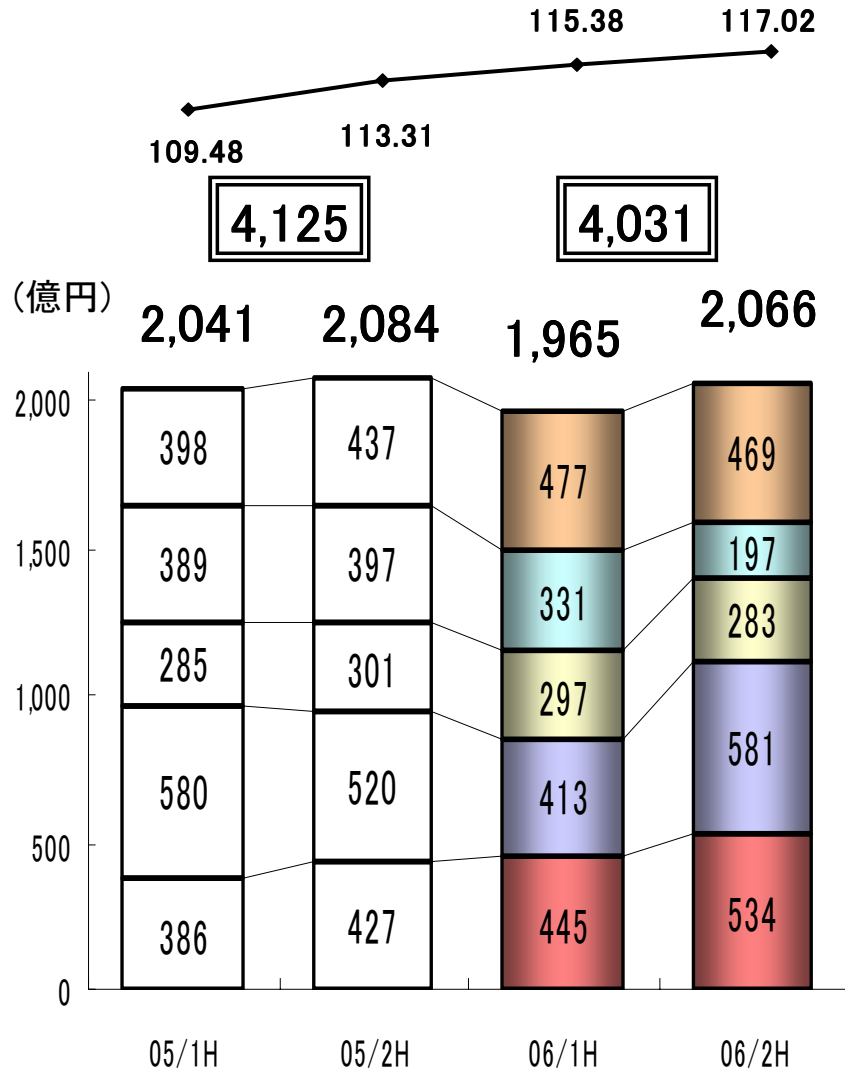
2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

2007年3月期 実績報告 電子部品セグメントの状況

■ 売上高の増減



(注)07/3期実績は、セグメント間消去前を表示

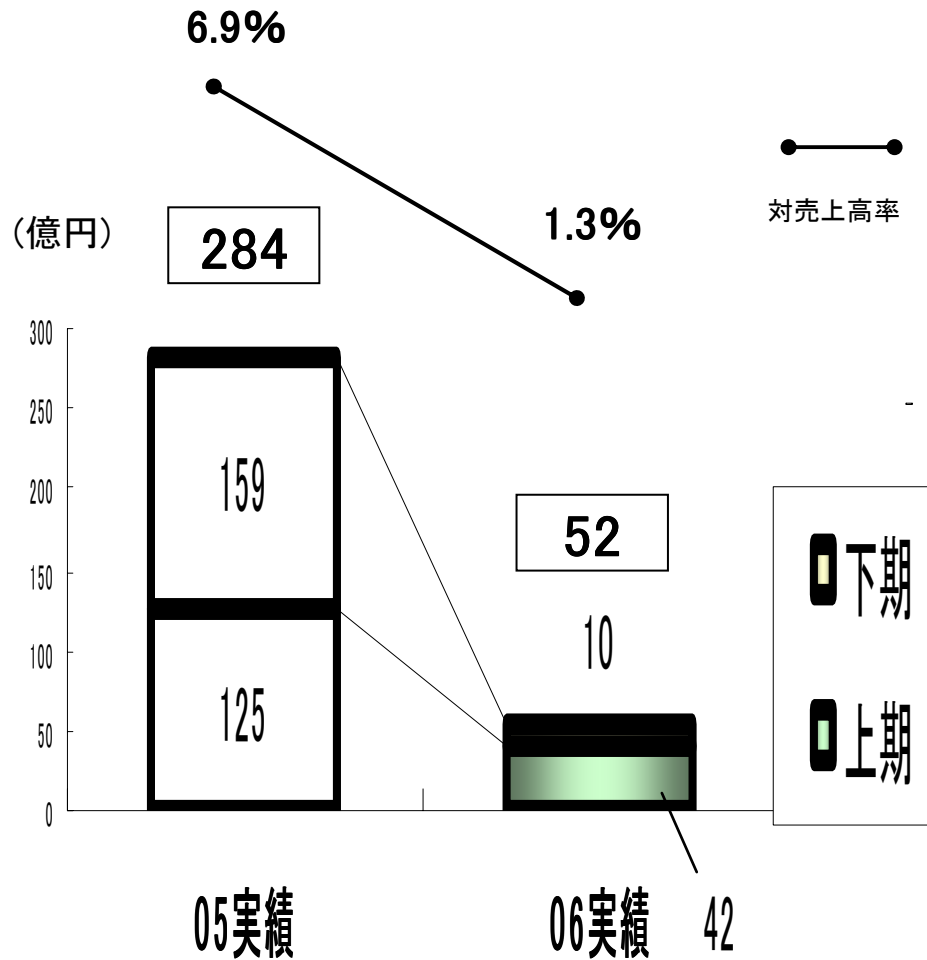
前期比 Δ 94億円

主な増減の要因

- ・コンポーネント事業
スイッチ、センサ、コネクタの増加等 $+111$ 億円
- ・磁気デバイス事業
HDD用ヘッドの減少等 $\Delta 258$ 億円
- ・情報通信事業
アナログ・デジタルチューナの減少等 $\Delta 6$ 億円
- ・周辺事業
小型プリンタ、LCDモジュール減少等 $\Delta 106$ 億円
- ・車載電装事業
ステアリングモジュールなどの増加等 $+166$ 億円

2007年3月期 実績報告 電子部品セグメントの状況

■ 営業利益の増減



前期比 $\Delta 232$ 億円

主な増減の要因

- ・HDD用ヘッド、小型プリンタやLCDモジュールなどの売上、規模減による利益の減少等

$\Delta 173$ 億円

- ・(前期計上分)
退職給付過去勤務債務償却益

$\Delta 59$ 億円

(注)連結消去前を表示

■ (ご参考) 為替変動の影響

売上高・営業利益への1円当り影響額

< 連結ベース >

- ・ 売上高 対米ドル 2.1億円/月
- ・ 営業利益 対米ドル 0.6億円/月

< 電子部品事業 >

- ・ 売上高 対米ドル 1.5億円/月
- ・ 営業利益 対米ドル 0.5億円/月

(注) 2007年3月期 実績をもとに算出。

目次

1. 2007年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2008年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

■ 連結業績の状況

【2007年 5月 7日現在】

- 売上高 6,670億円
- 営業利益(率) 200億円(3.0%)
- 経常利益(率) 180億円(2.7%)
- 当期純利益(率) 45億円(0.7%)

《前提となる予想為替レート》 115円/USD、150円/EUR

- ・設備投資 : 442億円 ('07/3期比 △ 9億円)
- ・研究開発費: 447億円 ('07/3期比 △37億円)

■ 電子部品セグメントの状況

【2007年 5月 7日現在】

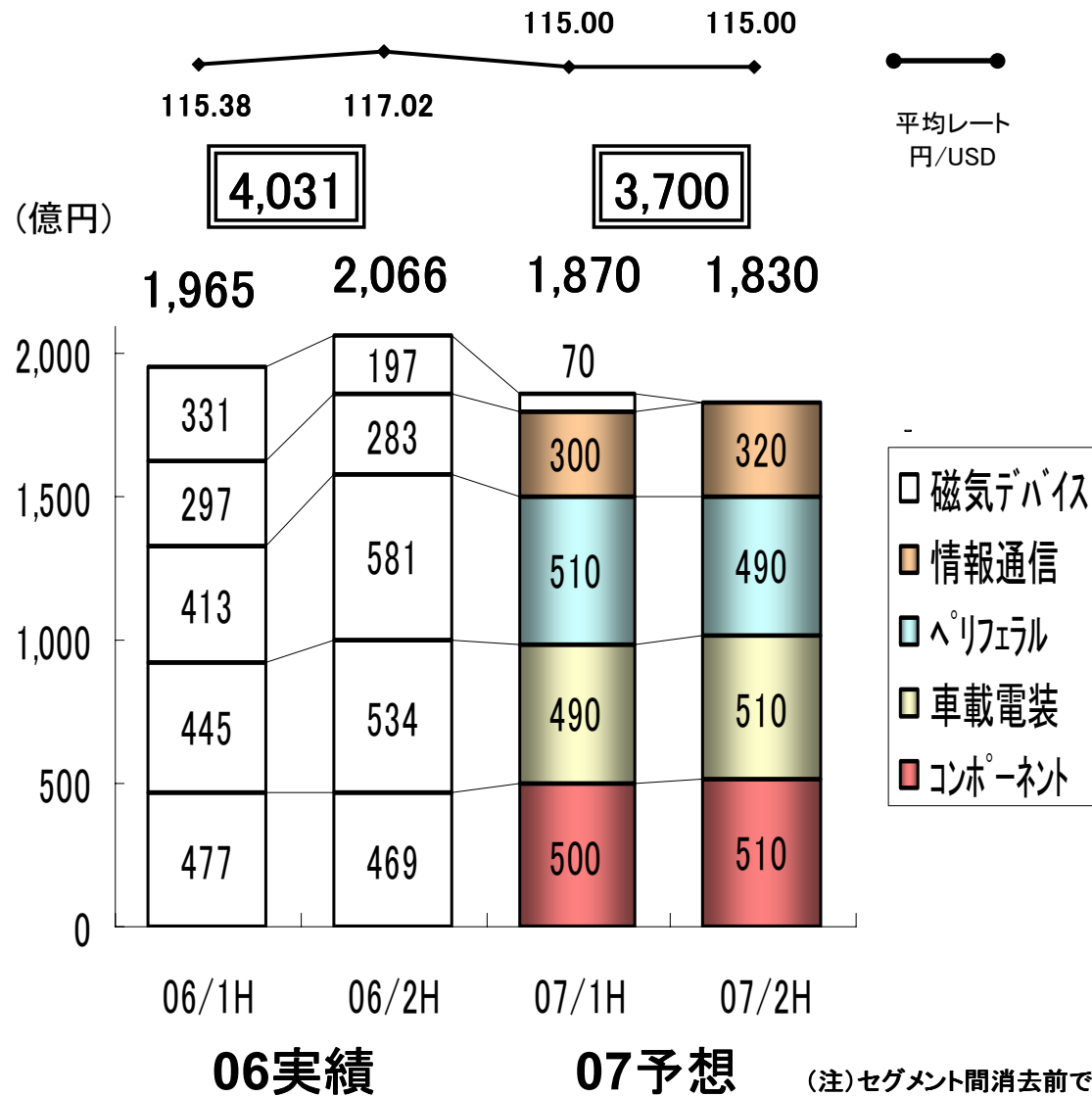
- 売上高 3,700億円
- 営業利益(率) 50億円(1.4%)

《前提となる予想為替レート》 115円/USD、150円/EUR

- ・設備投資 : 288億円 ('07/3期比 △ 7億円)
- ・研究開発費: 146億円 ('07/3期比 △34億円)

2008年3月期の見通し

■ (電子部品セグメント) 売上高の内訳



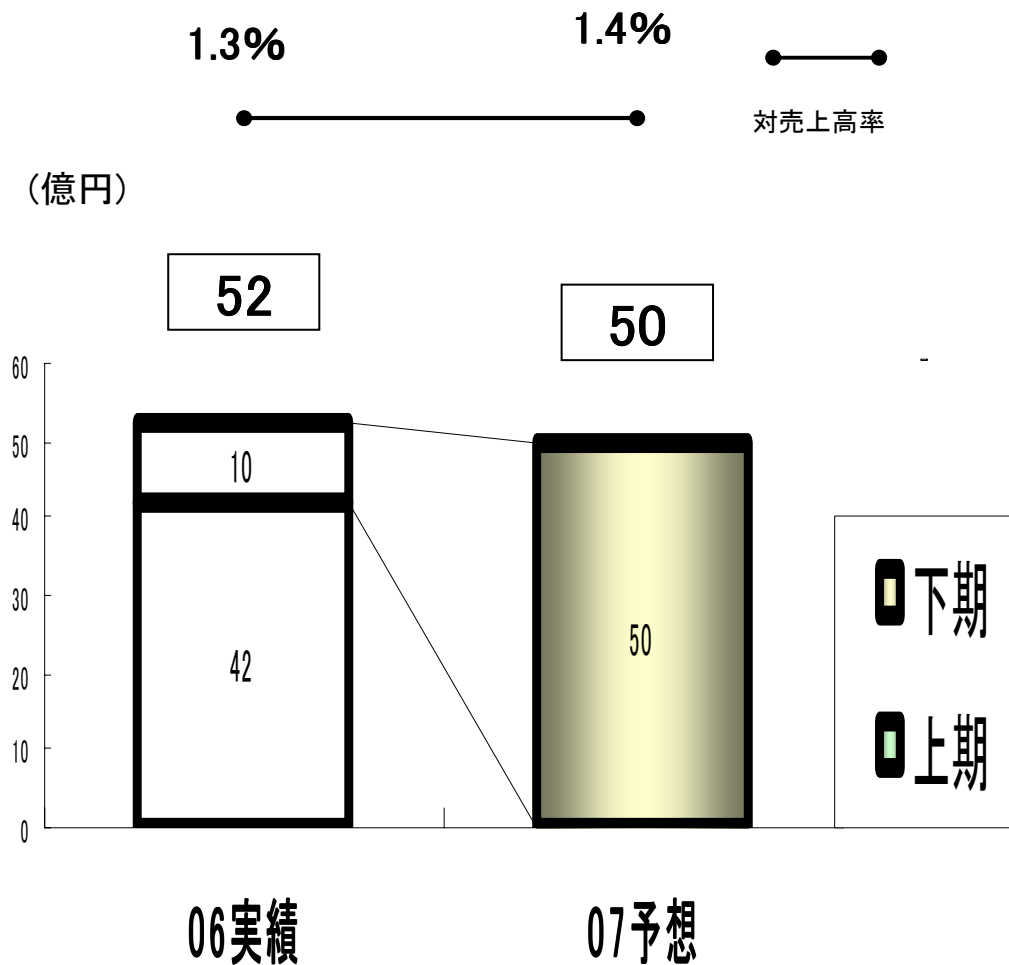
前期比 Δ 331億円

主な増減の要因

- ・コンポーネント事業
スイッチ、センサの増等
+ 64億円
- ・磁気デバイス事業
HDD用ヘッドの減等
 Δ 458億円
- ・情報通信事業
車載用Bluetooth™の増等
+ 40億円
- ・パリフェラル事業
入力用デバイスモジュールの増等
+ 6億円
- ・車載電装事業
前面操作用インパネモジュールの増等
+ 21億円

2008年3月期の見通し

■ (電子部品セグメント) 営業利益の見通し



(注)連結消去前で表示

前期比 Δ 2億円

主な増減の要因

<上期>

磁気デバイス事業におけるHDD用ヘッドの終息に向け、赤字幅拡大。他4事業での増収、原価改善により、収益ゼロ。

<下期>

HDDヘッド終息により、赤字拡大は無し。他4事業で利益確保を見込む。

2008年3月期の見通し

■ コンポーネント事業

売上高(計画) 1,010億円(前期比 107%)

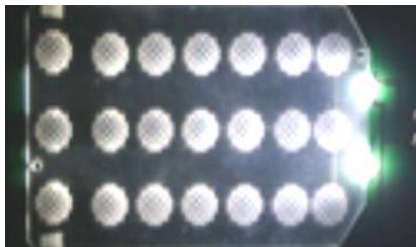
〈重点戦略〉

新商品の仕込と事業化のスピードアップで増収増益を継続

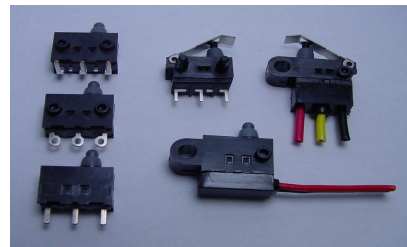
[販売戦略] シェアアップ作戦と商品構造改革で、売上目標を達成

[開発戦略] DMの充実と要素技術の深耕で、新製品並びに新規事業の仕込み、及び事業化のスピードアップ

[生産戦略] 生産革新の実践により、桁違い品質を達成



携帯電話用
ライトガイド付コンタクトシート™



車載用
防水タイプ検出スイッチ



携帯機器用
コンバインタイプコネクタ

2008年3月期の見通し

■ 車載電装事業

売上高(計画) 1,000億円(前期比 102%)

〈重点戦略〉

1. 新製品・新技術の継続創出
2. DMの徹底活用による、部品・製品完成度の向上
3. Global経営効率の向上(拠点の拡充と適地生産の強化)



ハプティックコマンド[®]
エアコン操作ユニット
操作スイッチユニット



ドア・シート用操作モジュール
パワーミラースイッチ



パッシブキーレスエントリーシステム
キーレスエントリーシステム

2008年3月期の見通し

■ ペリフェラル事業

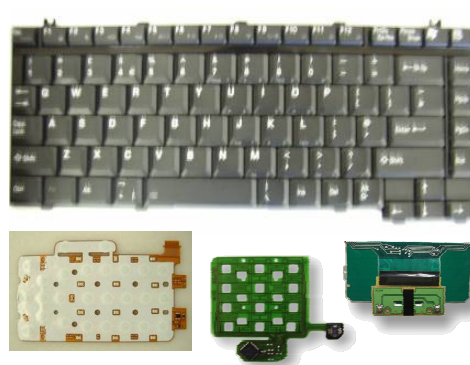
売上高(計画) 1,000億円(前期比 101%)

〈重点戦略〉

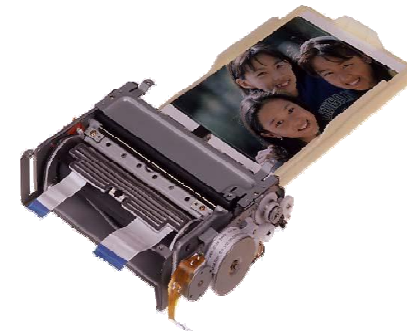
- コア技術に根付く、ペリフェラル製品の創出に注力
- タッチパネル, 入力デバイス, プリンタ・メカニズム等の応用展開実施



携帯機器用
タッチパネル



PC・携帯機器用
入力デバイス



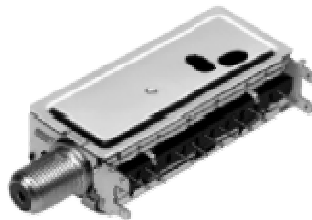
小形プリンタ
メカニズム

■ 情報通信事業

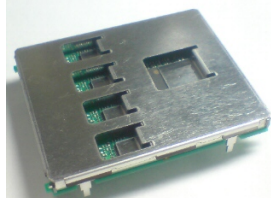
売上高(計画) 620億円(前期比 107%)

<重点戦略>

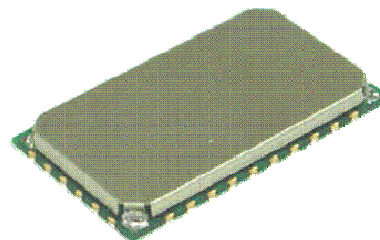
- TV(FPD等)・車載用デジタルチューナの拡大
- 車載用Bluetooth™でグローバルNo.1サプライヤーへ
- 通信・映像市場における光学ビジネスの拡大



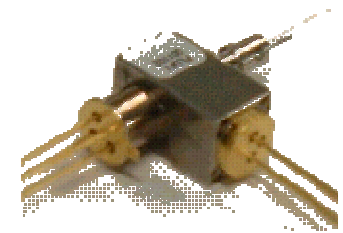
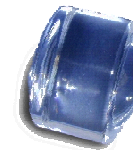
地上デジタル放送用TVチューナ



車載用フルセグチューナモジュール



車載用
Bluetooth™モジュール



光通信用デバイス&モジュール



携帯カメラモジュール

2008年3月期の見通し

■ 磁気デバイス事業

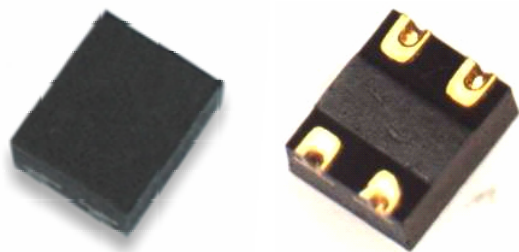
売上高(計画) 70億円(前期比 13%)

〈重点戦略〉

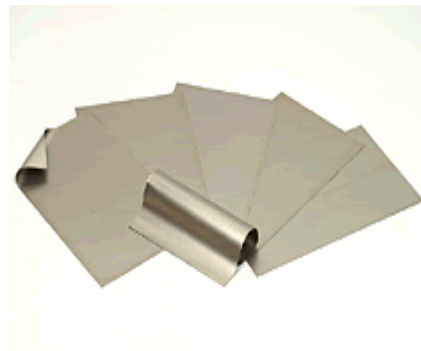
事業構造改革の加速



1. センサ事業の拡大
2. 材料応用製品(リカロイ™、圧電応用品)の事業化推進



高精度磁気センサ



リカロイ™シート



圧電ポンプ

目次

1. 2007年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品セグメントの状況

2. 2008年3月期の見通し

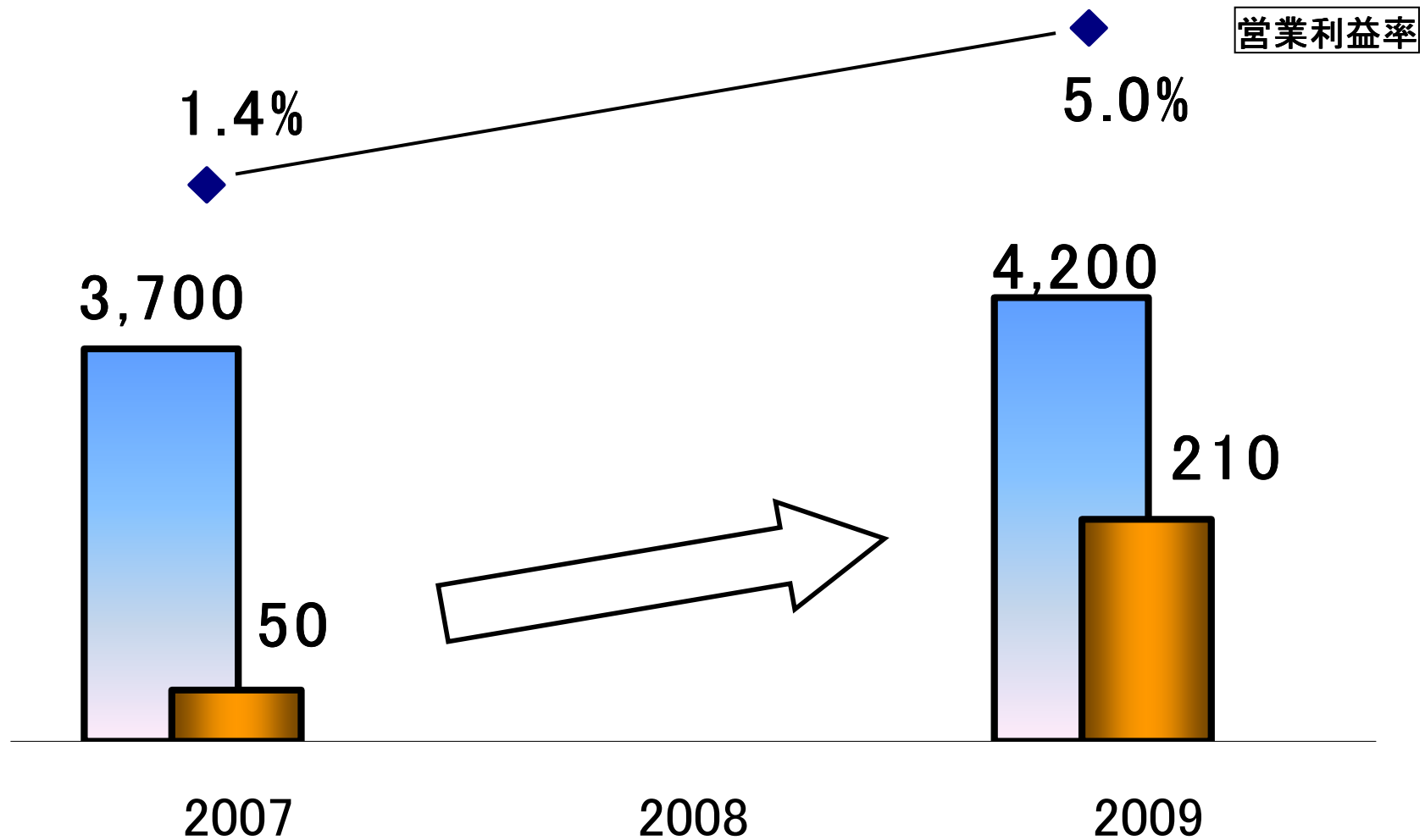
2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品セグメントの状況

3. 今後の見通し(電子部品セグメント)

(電子部品) 今後の見通し 売上高・営業利益の推移

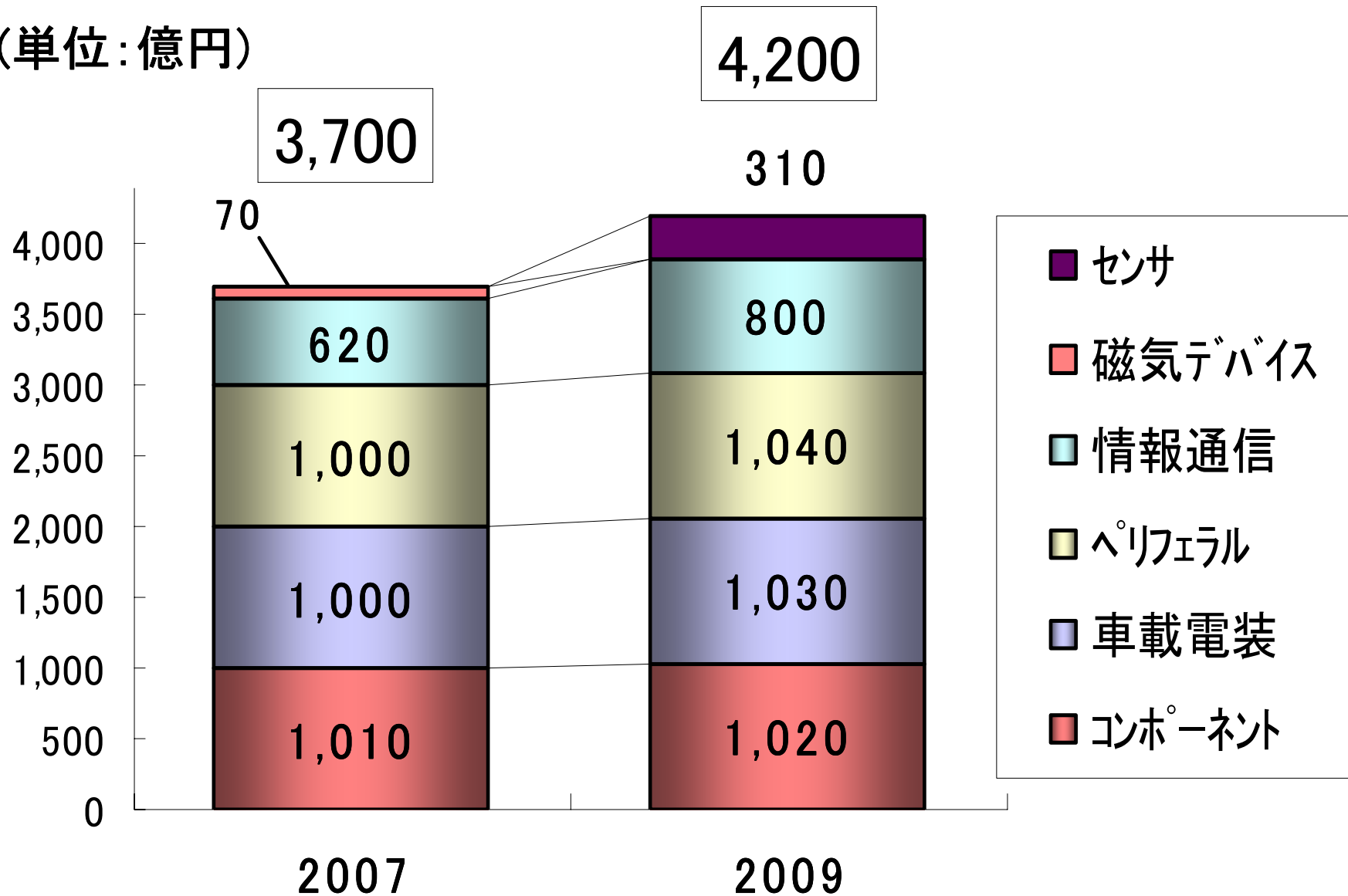
(単位：億円)



《前提となる予想為替レート》 115円/USD、150円/EUR

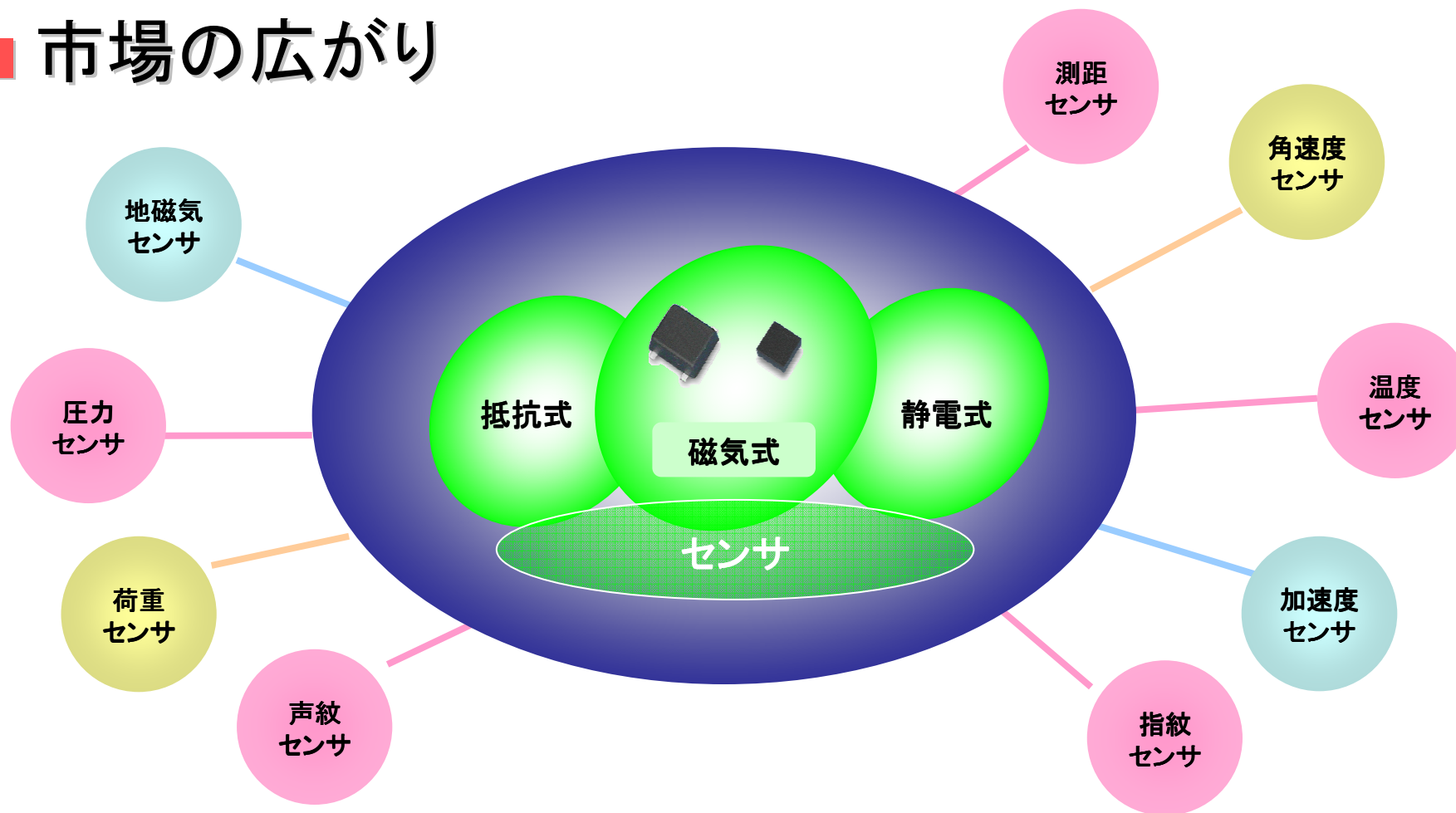
(電子部品) 今後の見通し 売上高の内訳

(単位: 億円)



(電子部品) 今後の見通し センサ事業について

■ 市場の広がり

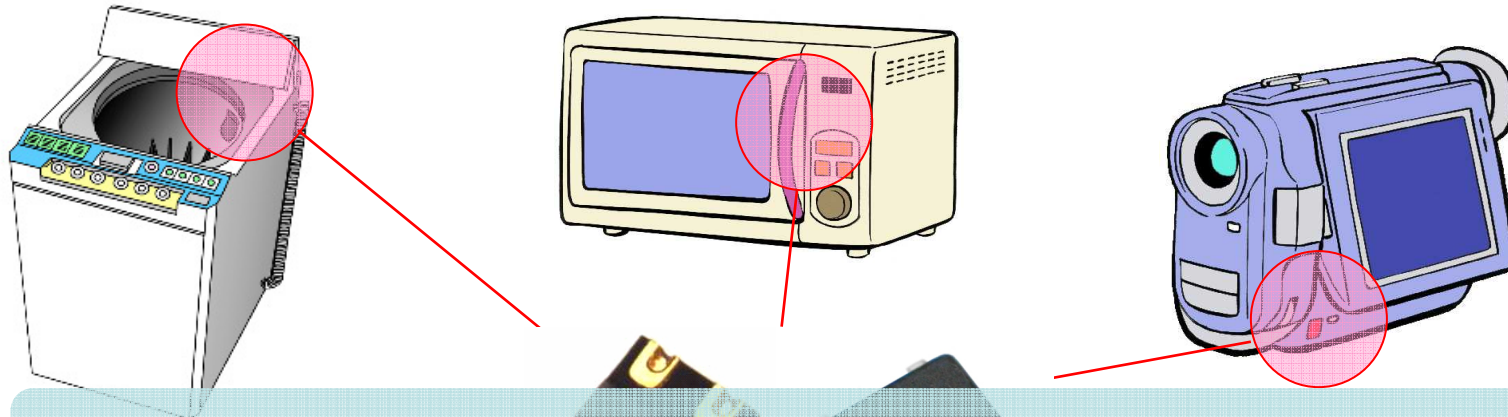


今後の取り組み

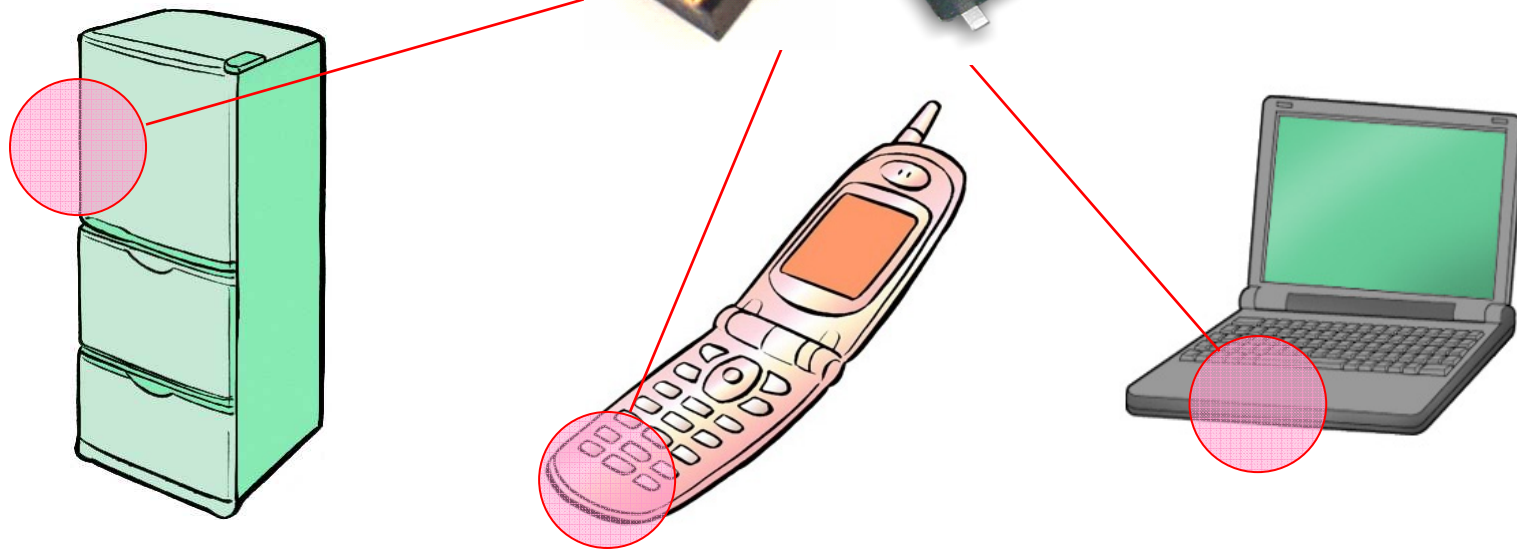
- 抵抗式・磁気式・静電式のコア技術を生かした、各種センサ製品の創設

(電子部品) 今後の見通し センサ事業について

■ 携帯・ホーム市場への取り組み



あらゆる民生機器における非接触での蓋・扉開閉を検知



■ 磁気センサ(開閉検知用)の性能ポイント

高精度広範囲検知

- 磁石の小型化
- 基盤レイアウトの自由度

小型・薄型化

- 高密度基板でも実装可
- 省スペース化による、設計自由度の向上

バラエティー

- 極性の判定
(S/N極の識別)
- 検知範囲の制御
ピンポイント～ワイドレンジ

低消費電流

- バッテリーの長寿命化
- 省電力化

温度変化における信頼性

- 広い温度範囲で安定的な動作(-40°C~85°C)

製品バラツキ小

- 従来の磁気センサに比べ約半分のLotばらつき

(電子部品) 今後の見通し センサ事業について

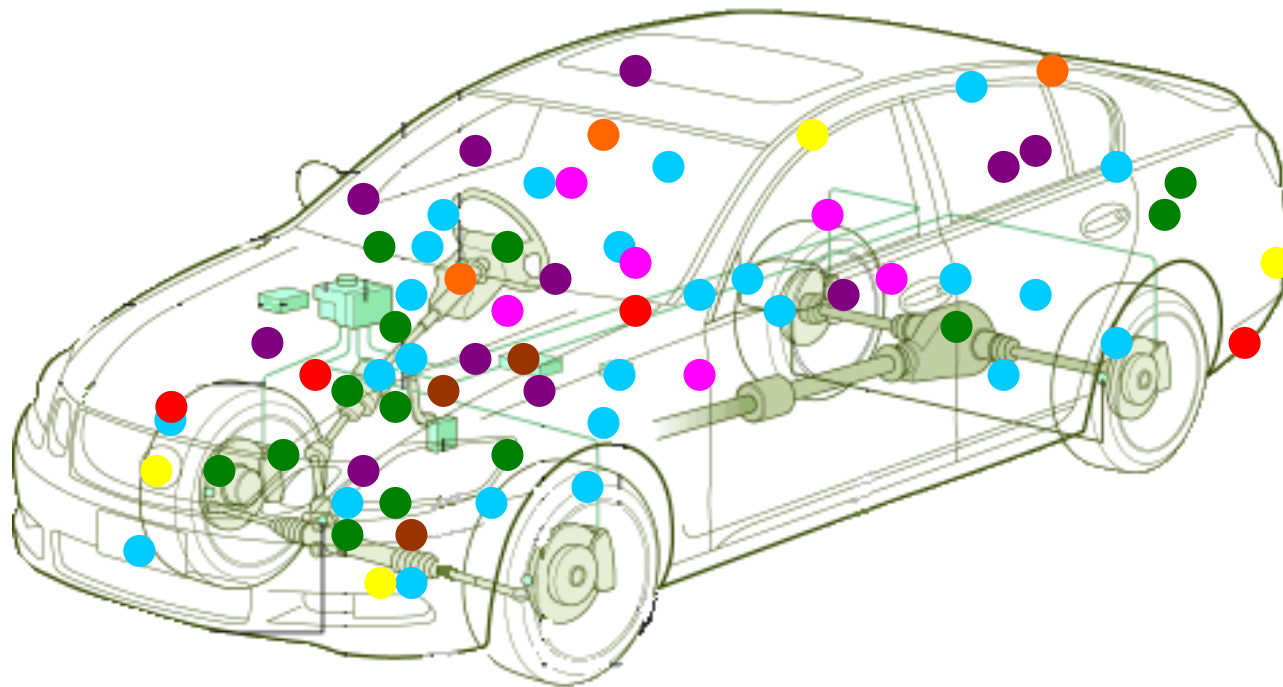
■ 車載市場への取り組み

温度

圧力

ガス濃度

距離



位置回転

加速度
角速度

画像

その他

配当政策（電子部品事業）

- 2008年3月期の株主利益配分について

中間配当 1株につき10円を予定

（ご参考：前期中間配当金 10円）

年間配当 1株につき20円を予定

（ご参考：前期年間配当金 20円）

当スライドの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。よって、見通し・予想を算定するため過去に認識された事実以外に、見通し・予想を行うための仮定等を使用しています。これらの記述については、将来その通りに実現するという保証はありません。また、本資料は会計士監査対象外となっています。

なお、当社のハプティック関連デバイスは、Immersion CorporationのTouchSense™Technologyを使用しており、TouchSense™はImmersion Corporationの登録商標です。

また、本資料中に表記している「Bluetooth™」は、米国Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

美しい電子部品を究めます

ALPS®